(7)　保証債務の明細

（単位：千円）

区分	期首残高		当期増加		当期減少		期末残高		保証料収益
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	金額
国立大学財務・経営センター債務負担金	1	12,786,328	—	—	1	1,316,473	1	11,469,854	—

(8)　資本金及び資本剰余金の明細

（単位：千円）

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	政府出資金	36,175,800	—	—	36,175,800	
	計	36,175,800	—	—	36,175,800	
資本剰余金	資本剰余金					
	無償譲与等	1,467,345	—	—	1,467,345	
	施設費	6,325,602	2,973,096	366	9,298,332	(注)1．
	ＮＴＴ無利子借入金	2,327,360	—	—	2,327,360	
	寄附金等	504	—	—	504	
	目的積立金	1,671,724	2,303,783	—	3,975,507	(注)2．
	損益外固定資産除却差額	△ 93,553	10,940	7,456	△ 90,070	(注)3．4．
	計	11,698,982	5,287,819	7,822	16,978,978	
	損益外減価償却累計額	△ 8,651,206	△ 1,662,147	△ 7,586	△ 10,305,767	(注)3．5．
	損益外減損損失累計額	△ 93,787	—	—	△ 93,787	
	民間出えん金	7,485	—	—	7,485	
	差引計	2,961,474	3,625,672	236	6,586,910	

(注)　1．資本剰余金の施設費の当期増加額は、施設費を財源とする固定資産購入によるものである。
2．資本剰余金の目的積立金の当期当期増加額は、目的積立金を財源とする固定資産購入によるものである。
3．資本剰余金の損益外減価償却累計額の当期減少額及び損益外固定資産除却差額の当期減少額は、現物出資を財源とする固定資産の除却によるものである。
4．資本剰余金の損益外固定資産除却差額の当期増加額は、焼失した現物出資財産の代替資産を損害保険金で購入したことによるものである。
5．資本剰余金の損益外減価償却累計額の当期増加額は、現物出資及び施設費を財源とする固定資産の減価償却によるものである。

(9)　積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

(9)―1　積立金の明細

（単位：千円）

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
教育研究・組織運営改善積立金	994,655	778,848	1,756,912	16,591	(注)
附属病院運営改善積立金	1,406,044	76,727	1,482,771	—	(注)